

高山の文化

No.187 2017.4.5 Culture in Takayama

一般社団法人 高山市文化協会 発行

高山市昭和町1丁目 高山市民文化会館内 Tel.34-6550 Fax.34-6877
 メールアドレス ●mail@takayama-bunka.org
 ホームページアドレス ●http://www.takayama-bunka.org
 (文化会館の催し物案内はこのホームページをご覧ください。)



洋画「朝市」小枝 利汎 F100号 (162cm×130cm)
 昭和59年に本人より寄贈
 文化会館ホワイエ階段踊り場に展示

また「高山祭の屋台行事」がユネスコ(国際連合教育科学文化機関)の無形文化遺産に登録されるなど、地元の伝統文化が世界中から高い評価を得ることができました。さらに市主催の「飛騨高山文化芸術祭」が、2016年の開催は、高山市の新しい文化を広く発信した事業となり、極めて意義の深い一年であったと感じています。

また「高山祭の屋台行事」がユネスコ(国際連合教育科学文化機関)の無形文化遺産に登録されるなど、地元の伝統文化が世界中から高い評価を得ることができました。さらに市主催の「飛騨高山文化芸術祭」が、2016年の開催は、高山市の新しい文化を広く発信した事業となり、極めて意義の深い一年であったと感じています。



一般社団法人 高山市文化協会
 会長 小林 浩

平成二十九年を迎えて 「支え合って高山市の文化」

一般社団法人 高山市文化協会の活動を順調に進めることができず、会員の皆様はじめ市民の皆様の御理解とご協力の賜物と、心から厚くお礼申し上げます。
 お陰様を持ちまして、昨年度の事業も滞りなく進めることができました。特に新しい文化会館建設のための基金へ寄附をさせていただいたことで、建設への一歩を進めることができました。新しい文化会館の建設計画については、引き続き市民の皆様へ現状を説明し理解をいただいて、市民総意の運動として取り組んで参ります。

さて本年度は、質実ともに当協会の一般社団法人としての財政基盤の確立と組織の充実を一層進めていきたいと考えています。それには、事業の見直しを行い、当協会の理念ともいえる「市民の皆様が身近に文学・音楽・美術・芸能などの文化に接し、参加し、楽しむ機会を作り出す」を基本に、それを多くの市民で支え合えるような環境を整えていきたいと計画しています。例えば、高山市内の各社

や農村地域に伝わる伝統行事は、簡素化され、途絶えていきつつある現状があります。こうした地域の伝統行事を発表する機会を設けることで、「地域の文化は高山市全体の宝物である」という意識の共有を図る必要があると考えています。また海外へ日本文化を発信する取り組みも重要で、アメリカ・デンバー市や韓国・安東(アンドン)市における伝統芸能の発表も、地域間の文化を支える交流となります。

本年度も、市民の皆様とともに活動して参りますので、どうかご指導とご鞭撻をいただきますよう、よろしくお願いたします。

「戦争だ」と宣戦布告をしたのはトランプ大統領の方からだった。メディアとは最初からケンカ腰。昔の大本営陸軍部発表なら「本末明、米本土において戦闘状態に入れり」か。共同記者会見では質問を無視し、言いたいことはツイッターという「つぶやき」で発信する。会見場に入れない社も。これに対して支持する国民も多く、株なども高く始まったが?

「岡目(目)」

高山市文化協会 会員募集

~高山の文化と一緒に支えてください~

高山市文化協会は、芸術・学術の普及と向上に関する事業を実施し、会員の皆様とともに地域の文化振興と発展に寄与することを目的として設立されている一般社団法人です。ぜひご入会していただき、高山の文化を応援してください。

- ◆入会資格 どなたでもご入会いただけます。
- ◆年会費 個人3,000円、団体6,000円、賛助(企業)10,000円
- ◆特典① 毎月発行する広報「高山の文化」を郵送します。
- ◆特典② 高山メセナメイトと同様の会員資格(チケット優待、メセナメイトツアーへの参加、年4回のメセナメイト会報の送付)が得られます。なお、団体会員は2名分、賛助会員は3名分の会員資格を有します。
- ◆特典③ 団体会員は、発表会などの告知や団体の紹介記事などの掲載及び、Hit's FMでの広報を行うことが出来ます(要申込)また、毎年6月頃に開催する「高山文化フォーラム」へ参加いただけます。
- ◆特典④ 会員のみ参加できる研修旅行や講演会などがあります。

「あんさま、そらちよつとえらいぜな」と言う役のメディアの方が今は押され気味。なにしろ、当初トランプ勝利を予想して報道していた社はほとんどなかった。選挙報道としては打ちましがいい。それやこれやでトランプ大統領は叫ぶ「偽ニュース」と。

〈ガンモン毛筆〉

高山市文化芸術鑑賞事業

○主催 高山市・(一社)高山市文化協会 ○お問い合わせ (一社)高山市文化協会 (tel.0577-34-6550) mail@takayama-bunka.org



脚本・演出/後藤圭
 音楽/石川洋光



劇団かかし座はNHK専属の影絵劇団として1952年創立。現在は影絵の映像手法を積極的に採り入れた舞台作品を始め、映像作品などの総合エンタテインメントを全国に発信しています。



おはなし
 むかしむかし、3人のむすこをもった粉屋がいました。その粉屋が死んで、上のにいさんは水車小屋を、下のにいさんは口バをもらいました。いちばん下のおとうとがねこしかもらえずにがっかりしている、そのねこが言いました。「ご心配なく、ご主人さま。わたくしに、ふくろをひとつと長靴を一足くださいな。」ねこにはどんな作戦があるのでしょうか? 美しいおひめさま、りっぱなお城、そしてそこにすんでいる人喰いおにとねこのちえくらべ。長靴をはいたねこの大活躍にご主人さまもびっくり。ドキドキわくわくのアドベンチャーストーリーをお楽しみください!

影絵劇団かかし座 「長靴をはいたねこ」

影絵体験
 コーナー
 午後2時~

平成29年
5/21日 午後3時30分開演
 午後3時開場

久々野公民館ホール
 久々野町久々野1505-4

チケット料金(税込) [一般] 1,500円 [メセナメイト会員] 1,000円
 全席自由 [ジュニア(18才以下)] 500円 ※幼児は席使用時有料

チケット発売 4月8日(土) 午前9時~(一斉発売)
 プレイガイド 高山市民文化会館 tel.0577-33-8333
 久々野公民館 tel.0577-52-3112



藤原道山 (尺八演奏家) SINSKE (マリンバ奏者)
藤原道山 SINSKE
 四季-春夏秋冬-

尺八とマリンバによる 世界最小オーケストラ

「尺八とマリンバだけで、オーケストラのような多彩な響きを生み出せるはず」二人のそんな思いからスタートしたコンサートが、今や全国で完売続出となり6年目を迎えました。今回は日本固有の「四季」をテーマにクラシック「四季(ヴィヴァルディ)」をはじめ、日本唱歌やポップスなど様々なジャンルにとらわれない名曲の数々に、新作オリジナル楽曲を交えお届けします。尺八とマリンバが彩る「春夏秋冬」をお楽しみください。

平成29年
7/2日 午後2時開演
 午後1時30分開場

こくふ交流センター さくらホール
 高山市国府町広瀬町880-1

チケット料金(税込) [一般] 2,500円 [メセナメイト会員] 2,000円
 全席指定 [ジュニア(18才以下)] 1,000円 ※未就学児入場不可

チケット発売 5月6日(土) 午前10時~(一斉発売)
 高山市民文化会館 tel.0577-33-8333
 さくらホール管理事務所(2F) tel.0577-72-4480
 飛騨市文化交流センター tel.0577-73-0180

高山メセナメイト 年度会費500円で 会員募集中

- これだけの特典があります。
- ①メセナメイト会報による最新情報の送付
 - ②会員1名1枚のチケット優待(割引・先行購入)
 - ③メセナメイトツアーへの参加資格(申込抽選)

お申し込みは、文化会館窓口又はインターネットにて
 お問い合わせ先: 高山メセナメイト事務局 tel.0577-33-8333
 http://www.takayama-bunka.org

文化協会会員の皆様は、
 同じ特典が受けられます。

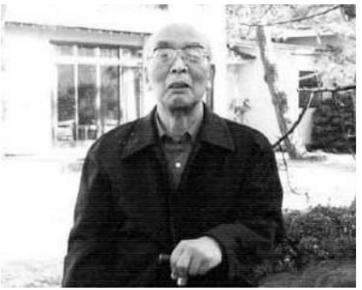
高山の文化を高めた人々 No. 67

父、土田吉左衛門について

土田 貢

父吉左衛門は、明治四十年（一九〇七）高山市に生まれ、旧制尋常小学校、高等小学校卒業の後、家庭の事情で進学を諦め、十五歳で代用教員の道歩みしました。

しかし勉学の志高く、学校に勤務しながら検定試験の勉強に励み、専門学校資格検定試験（専検）に合格しました。次に文部省教員検定試験（文検）に合格した時は、三十歳を過ぎていて結婚もしていません。夜中に急に飛び起きて「寝ている場合じゃない」と机に向かったそうです。私が中学三年の頃、父は「俺はお前の年には先生になって年上の生徒を教えていた」と言っていました。



S62年末、生地温泉「たなかや」にて

田君、言語は時間と共に変遷するから、今のうちに言葉を留めておかないと消えてしまふよ」と言われ、以来三十年間飛驒の方言を収集しました。

吉城高校在職中の五十二歳のとき、「飛驒のことば」という辞典を自費出版しました。「舟を編む」という辞典

代用教員時代、清見の大原に勤めていて、休みになると登り下りの激しい旧街道（片道約四十km）を毎回高山まで歩いて帰り、また戻ったそうです。一度、吹雪で遭難しそうになり「お助け小屋」で一晩明かして助かった話も聞きました。

二十代の頃、国語辞典やアイヌ語の研究で有名な金田一京助先生が来高され、父が飛驒を案内しました。先生は「土田君、言語は時間と共に変遷するから、今のうちに言葉を留めておかないと消えてしまふよ」と言われ、以来三十年間飛驒の方言を収集しました。

六十歳で退職しましたが、在職年数は四十五年に及び、県下ではかつてない記録でした。退職後は「山は黙っているからいい」と、昔から育成管理してきた山林の仕事と畑仕事をし、晴耕雨読の余生を望んでいました。しかし、六十五歳のときに学芸員の全国公募に申請し、上京しました。

千葉の松戸の寮から東京の上野の博物館へ通って学芸員資格を取ったようです。国府町の依頼で『国府町の文化財』の執筆をしたのは六十六歳、それから『飛驒の民謡』を自費出版します。七十歳を過ぎてから宮川村より村誌編纂を依頼され、高山から宮川村まで毎日通い、数年をかけて『宮川村誌 上・下・資料編』全三巻を完成しました。

司の宇都宮氏がお見えになり、「天皇陛下御在位六十年記念事業として、岐阜県の神社体系の本を作りたい。それにあたり、飛驒の神社四百四社の分をお願いします」とおっしゃられ、快諾して「飛驒の神社」の執筆を始め、出来上がったのは八十歳になってからでした。



著書の一部

八十二歳で『古文書の読み方』を出版してからも、朝から晩まで原稿を書いています。父に聞くと「昔出した『飛驒のことば』は、慌てて出すぎて内容が少ない。あれから資料を充分集めたので、上下巻の『飛驒のことば』を出すつもりだ」と張り切っていました。前日、た行の原稿の校正まで終えていました。享年八十五歳。

第41回 飛驒文芸祭作品募集

- 一、応募資格 飛驒三市一村に在住か在勤、出身の方
- 二、対象作品 平成二十八年八月十六日から平成二十九年八月十五日までに創作または発表した作品（既発表作品も可）
- ①小説、戯曲、児童文学等 四百字詰原稿用紙百枚以内 一篇
- ②随筆、評論等 四百字詰原稿用紙二十枚以内 一篇
- ③現代詩 三篇
- ④短歌、俳句

- 十首（句）
- ⑤短歌、俳句（高校生以下）五首（句）
- ※必ず、規定の篇（首・句）で応募してください。超えても不足しても審査の対象となりません
- 三、応募方法 ①自主応募②団体や結社等による推薦（推薦用紙は適宜）
- 応募作品に、小説・戯曲・随筆・現代詩などの区別を明記し、住所、氏名、電話番号を記入
- 高校生以下の応募者は、学校名と学年を明記
- 封筒に「文芸祭応募」と記入

- 既発表作品の場合は、印刷物またはコピーによる提出も可
- メールによる応募も可
- 対象作品中①、②の入賞作については、デジタルデータを提出していただきます
- 四、応募締切 平成二十九年八月十五日（当日消印可）
- 五、送付先 千五〇六・〇〇五三 高山市昭和町一丁目一八八・高山市昭和一丁目一八八・（一社）高山市文化協会
- 一（二社）高山市文化協会メールの場合 mail@takayama-bunkaorg
- 六、審査 高山市文化協会文芸部委員と文芸部門より選出の役員で予選し、最終審査は、必要に

- 応じ専門の方々を加え選考します
- 七、発表 十月中旬に入賞者へ通知、広報「高山の文化」等に掲載
- 八、賞 文芸祭賞 一人 賞状及び副賞 江夏美好賞（小説のみ） 一人 賞状及び副賞 入賞（高山市長賞ほか） 十人 賞状及び副賞
- 九、その他 青竜賞【高校生以下】 若干名 賞状及び副賞 応募作品は返却しません
- 十、問合せ先 高山市文化協会（TEL 三四・六五五〇）

（一社）高山市文化協会 平成29年度事業計画

月日	事業名	内容・場所
毎月開催	理事会・評議員会	
随時開催	三役会、各委員会	
随時	市長と語る会	
〃	国内・国外他都市との文化団体の交流	
通年	近代文学館の研究・調査	研究・調査資料収集
〃	指定管理受託	文化会館、文化伝承館、国府文化ホール、松本家住宅、宮地家住宅
〃	組織強化	高山市文化協会・メセナメイト会員随時募集
〃	ホームページ	文化会館・自主事業・文化協会事業案内
〃	自然環境保護事業	自然保護事業の取り組みについて
〃	初心者入門講座の開設継続	受講者申込受付、文化会館での開講
〃	広報発行	月1回程度発行 事業案内・作品募集等
〃	新市民文化会館建設推進運動	市民啓発・募金活動
随時	高山市文化伝承館「道伝えの日」	
5月21日	劇団かかし座「影絵劇 長靴をはいたねこ」	文化芸術鑑賞事業 久々野公民館
5月下旬	平成29年 定期総会	平成28年度決算総会
6月3日・4日	高山文化フォーラム2017	高山市民文化会館 芸能・展示
6月18日	第17回市民歴史散歩	久々野堂之上遺跡
7月2日	藤原道山×SINSKE 尺八とマリンバによる世界最小オーケストラ	文化芸術鑑賞事業 こくふ交流センター
7月17日	森山直太郎 15th Anniversary Tour「絶対、大丈夫」	〃 文化会館大ホール
8月11日	東西落語と英語落語（仮）	〃 文化会館小ホール
8月17日	文学碑掃苔	文学散歩道整備・清掃
8月27日	劇団四季「アンデルセン」	文化芸術鑑賞事業 文化会館大ホール
9月12日	清水ミチココンサート（仮）	〃 文化会館大ホール
9月30日・10月1日	第27回 近代文学館企画展	高山市図書館「煥章館」
10月6日～8日	日本版画院 東海支部 高山展	高山市民文化会館 4階大会議室
10月19日	ポールモリア管弦楽団（仮）	文化芸術鑑賞事業 文化会館大ホール
11月19日	爆笑寄席 月亭八方、月亭方正、漫才	〃 丹生川文化ホール
11月下旬	飛驒文芸祭No.41	第41回飛驒文芸祭入賞作品集発行
12月19日	ウイーン=ベルリン プラス・クインテット	文化芸術鑑賞事業 こくふ交流センター
平成30年1月1日	新年市民互礼会 文化功労者顕彰 飛驒文芸祭入賞者表彰	高山グリーンホテル 第41回飛驒文芸祭入賞者表彰式
1月12日～14日	飾り物展 テーマ「戌」「語」	高山市民文化会館 3階講堂
3月10日・11日	第28回 近代文学館企画展	高山市図書館「煥章館」
3月17日	近代文学館講演会	〃
3月下旬	平成30年 定期総会	平成30年度予算総会
未定	文化協会特別展	高山市民文化会館 3階講堂
〃	会員研修旅行	先進地・施設研修
〃	映画会	高山市民文化会館小ホール

※この他にもいくつかの事業を予定しています
※日程は変更する場合がありますので、ご了承ください

道伝えの日 4月22日(土) お茶会と飾り物 23日(日)

「道伝えの日 茶会」は、平成十七年の高山市文化伝承館開館当初より行っている恒例行事です。とかく難しいものと思われがちなお茶会を、気軽に楽しみ親しんでもらうことを目的に開催しており、広く市民の皆様に親しまれています。たまにはちよつと余所行ききの服を着て、桜の花咲く城山へお出かけください。今回は、皇風煎茶儀式と宗和流四常社のお手前です。また併せて、一月に開催した「新春飾り物展」の優秀作品も展示します。皆様のお越しをお待ちしております。

◇会場 高山市文化伝承館（城山号砲平下）

「道伝え茶会」
・二十一日 煎茶席 皇風煎茶儀式
・二十三日 抹茶席 宗和流四常社
○時間 午前十時～午後四時（午後三時までに入席）
○料金 呈茶券三百円（当日券有）。文化会館及び市内茶舗にて販売
「飾り物優秀作品展」
干支「酉」と歌会始のお題「野」をテーマにした入賞作品十二点と、高山飾り物同好会の参考作品を展示します。
○時間 午前十時～午後四時
○料金 無料



文化協会 加盟団体紹介 【坪内流】 家元 坪内 喜智老栄

「世代を超えて繋ぐ三味線の輪」 坪内流は昭和四十五年に初代家元、坪内喜智老栄が創設した民謡会派です。現在は二代目家元のもと、民謡三味線、津軽三味線の教室を飛驒地区にとどまらず、岐阜県内各地で展開しています。昨年、六年ぶりに高山市で開催した「坪内流芸能大会」も、お陰様で成功しました。

第23回 坪内流芸能大会にて

一方、我々に限らず伝統芸能界全体の課題である高齢化などによる人口減少対策には早くから取り組み、小中学校の三味線教室は古くからあります。そしていよいよ今年五月からは高山民謡連合会の協力をいただきながら、高山市内の全中学生を対象とした飛驒地区初の津軽三味線クラブチームを発足するなど、積極的な三味線文化の若者へのアプローチを仕掛けていくところ。この様にこれからも坪内流は年長者から若者まで途切れる事無く三味線文化を一緒に楽しめる会を目指して活動していきます。

文化協会 加盟団体紹介 【飛驒考古学会】

飛驒考古学会は、昭和四十九年に寺地茂雄氏や石原哲弥氏らを中心に、高山考古学研究会として設立しました。当時の飛驒では、遺跡保護や歴史研究にあまり関心がなく、多くの貴重な遺跡や古墳が人知れず消滅してしまっています。そんな中、本会の先輩諸氏は教育委員会と協力して、調査や研究活動に尽力しました。下呂石文化圏の提唱、飛驒での旧石器文化の存在、縄文時代の研究その他、飛驒の歴史の科学的な解明に、また古代や両面宿禰の研究等、飛驒史研究の盛り上がりにも大きく貢献しました。現在は、ベテランの研究を中心として、考古学に関心のある市民が集まって、和気藹々と調査や学習を続けています。テーマは、遺跡の保護、旧石器や縄文土器の器の編年、飛驒の弥生時代の研究等、多岐にわたっています。本会では年に二回、機関誌「どっこいし」を全国に向けて発行しています。購読を希望される方は、また考古学に興味がある方は、文化協会事務局までご連絡ください。

永年功労者顕彰

永年に亘り、一般社団法人高山市文化協会役員としてその発展に尽くされた寺地勇雄氏を、3月23日に開催した文化協会・総会にて顕彰しました。

（一社）高山市文化協会加盟団体 文化協会後援 催事案内 ART & human 心だ一周年記念講演会 「スポーツの理想郷を求めて」篠原無然と宮沢賢治に学ぶ

◇日時 四月二十二日（土）午後二時から

◇会場 文化会館四階

◇参加料 五〇〇円